

2024年度

ニチキッズ今池保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月12日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもたちがわくわくするようにと話し合いの時間を持ち、行事や季節に応じた活動や食育を行うことができた。一方、戸外での活動が少なく戸外だからこそ感じられる自然現象などに触れる機会を多く持つようにしたい。
子どもの発達援助	個々の発達に合わせて製作活動を変えたり、離乳食を進めたりしていくことができた。異年齢で過ごすことも多いため、適切な玩具の提供を考えていく必要がある。また、クラスを超えて全体で子どもの育ちについて共有していく。
保護者に対する支援	送迎時のコミュニケーションを丁寧に行うようにした。口頭でのコミュニケーションが難しい場合もあるので、その他のツールも状況に合わせて使っていく必要がある。感染症もあり、保育参加等できなかったので行うようにしたい。
保育を支える組織的基盤	朝礼・昼礼・伝言ノートを活用し、情報共有や連絡を行うことで、職員間のチームワークや連携をしっかりとることができた。非常勤保育士も含め、研修等に参加できるようにしていく。

総評
施設長が不在の期間も職員が一丸となり、保育や保護者対応を丁寧に真摯に行ってきた。この状況でできる最善の方法を支部や自治体などと連携しながらやってきたが、戸惑うことも多かった。もっとできたのではないかとの思いもそれぞれの職員の中にあると思うが、一つ一つ解決したり改善したりして、より子どもたちがいきいきと輝く保育室を作っていきたい。